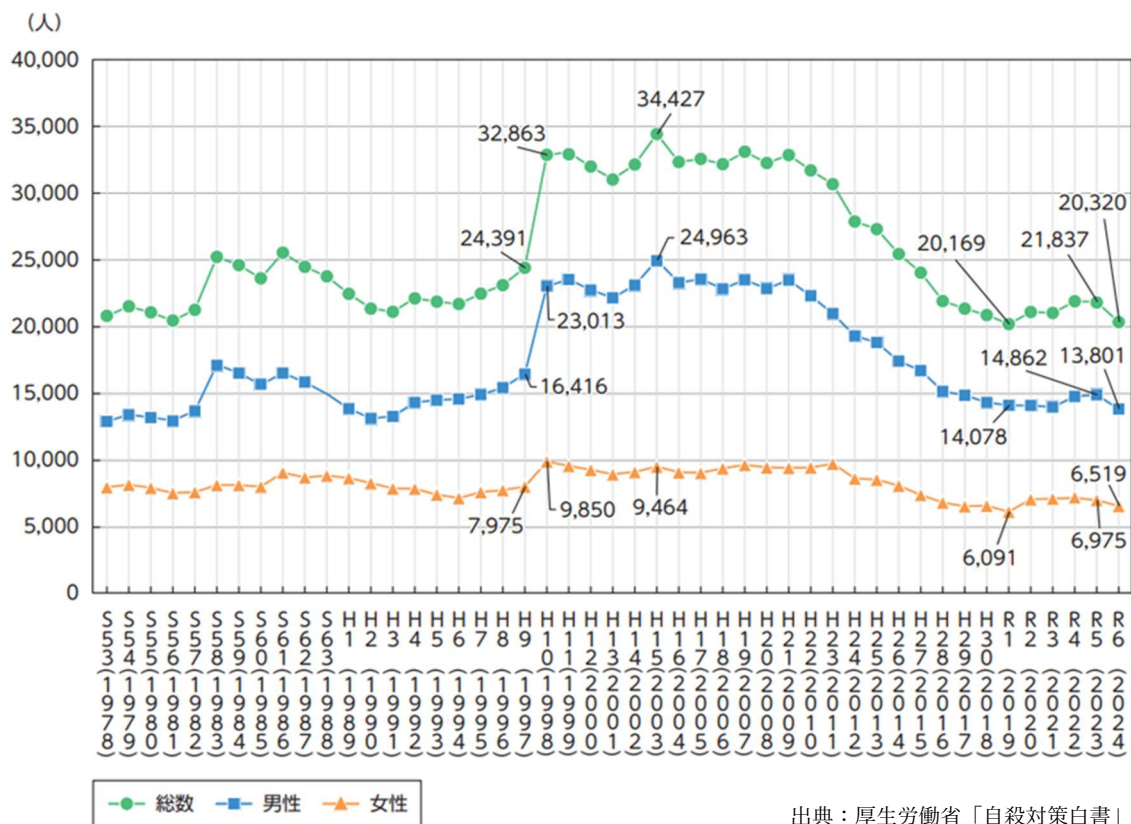


国及び本市の状況

自殺対策に関する状況 《令和7年度》

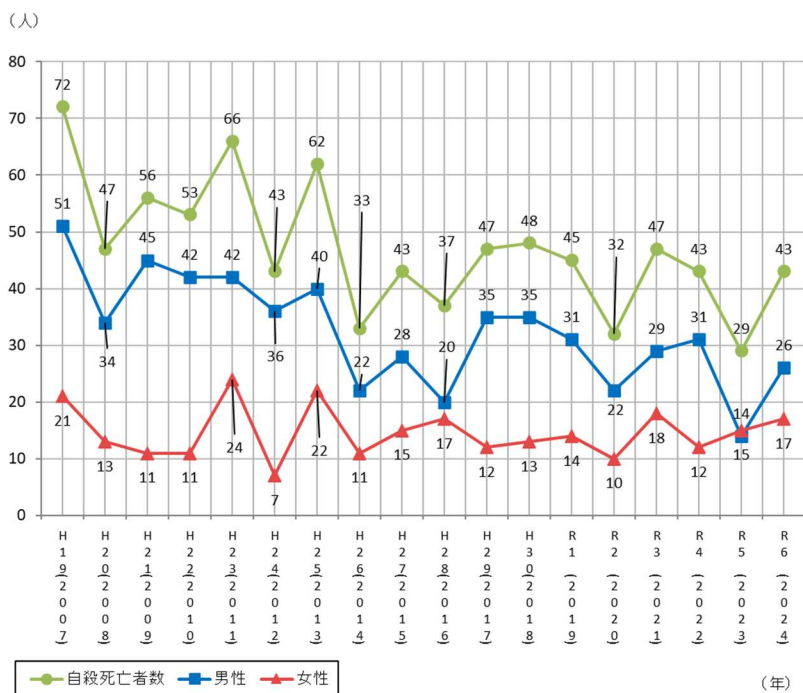
1 国の状況【全国の自殺者数の推移】



出典：厚生労働省「自殺対策白書」 戊

2 平塚市の状況

(1) 自殺者数の推移



厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」より作成

(2) 国が示す本市における主な自殺の特徴

地域自殺実態プロファイル 2025 による本市の重点パッケージ

「勤務・経営」 「高齢者」 「生活困窮者」

地域自殺実態プロファイル2025 地域の自殺の特徴 表1-1 地域の主な自殺者の特徴(2019~2024年合計)

自殺者の特性上位5区分	自殺者数 (5年計)	割合	自殺死亡率* (人口10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性40~59歳有職同居	20	10.3%	14.1	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み +仕事の失敗→うつ状態→自殺
2位:男性60歳以上無職独居	17	8.8%	86.7	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→ 将来生活への悲観→自殺
3位:女性60歳以上無職同居	17	8.8%	11.2	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
4位:男性60歳以上無職同居	14	7.2%	15	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲 れ)+身体疾患→自殺
5位:男性20~39歳有職同居	12	6.2%	15.2	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企 業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺

資料：警察庁自殺統計原票データをいのち支える自殺対策推進センター（以下、JSCP）にて個別集計・区分の順位は自殺者数の多い順で、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

* 自殺死亡率の算出に用いた人口は、総務省「令和2年国勢調査」就業状態等基本集計を基に JSCP にて推計したもの。

** 「背景にある主な自殺の危機経路」は、ライフリンク「自殺実態白書 2013」を参考に推定したもの（詳細は付表の参考表1参照）。自殺者の特性別に見て代表的と考えられる経路の一例を示しており、記載の経路が唯一のものではないことに留意いただきたい。